

S@lean^{*} volume 29

Kanagawa Coastal Environmental Foundation



若い世代の参加も多い、人気ビーチクリーンの秘密

今も昔も、多くのボランティア団体の共通の悩みの一つが、参加者がなかなか増えないことです。

一方で、2005年7月から茅ヶ崎市ヘッドランドで月1回実施している「海岸清掃団体 湘南ウキブイ」のビーチクリーンは若い世代に人気が高く、あっという間に参加枠が埋まります。

この差は、一体、何なのでしょう？そこには理由がきちんと存在します。テクノロジーを活用した人気ビーチクリーンの作り方について、海岸清掃団体 湘南ウキブイ代表の熊沢博樹さんに伺いました。



オンライン交流会(p12)での講演を再構成しています。

2019年最悪の記憶



参加者が300名を超えた2019年の夏、今でも最悪の記憶として残っている事態が発生しました。炎天下の中、参加者の受付が終了するまでに1時間もかかってしまったこと。当時は、ウェブサイトに参加者のお名前やニックネームを掲載する企画があり、一人一人に会場でお名前を聞いて、メモを取りながら、紙ベースの受付用紙を使用し、対応していました。実際に参加者が100名ほどでしたら、それでもスムーズに進行が可能でしたが、300人となるとアナログ対応の限界を超えました。

事前予約システムの導入

前出の「最悪の記憶」を機に、事前にウェブサイトから予約可能なシステムを導入しました。

2020年には、コロナの影響で活動が制約されることもありましたが、逆にスムーズに参加者の同意も得ることができ、従来の事前予約システムを予約者にストレスがかからないよう再構築したことで、今まで以上に入り込んだ参加者データの収集が可能となりました。僕らにとってコロナは云わば「未来化加速装置」の役割を果たしたと言っても過言ではありません。

お名前 (Full name) *必須 (Required) 例) ウキブイ 陽子	新型コロナウイルス接触確認アプリ登録の有無 (COCOA) *必須 (Required) 登録済 (Registered)
フリガナ (Furigana) *必須 (Required) 例) ウキブイ ヨウコ	参加月 (Participation month) *必須 (Required) 【再始動・事前予約制】 2021年4月 (vol.185)
メールアドレス (E-mail) *必須 (Required) 例) メールアドレス	お住まい: 市町村名まで (Address) *必須 (Required) 茅ヶ崎市
ご連絡先 (Contact info) *必須 (Required) 例) 電話番号	

当日の受付 個別ナンバーで管理



ビーチクリーン会場では、事前予約の際に配布する「個別ナンバー」を使用します。各自スマートフォンなどのデバイスで受付し、体調チェック、接触確認アプリ COCOA登録の有無なども入力します。当日以降は、この個別ナンバーで参加者を管理します。こちらのデータをクラウド上で管理したことで、いつでも呼び出せる状況になりました。

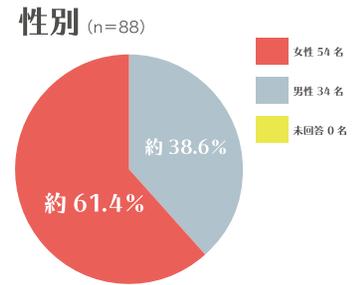
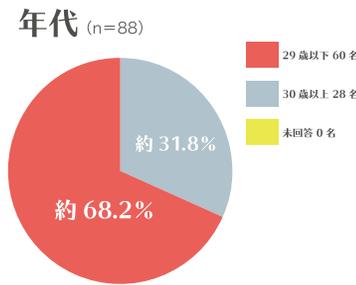
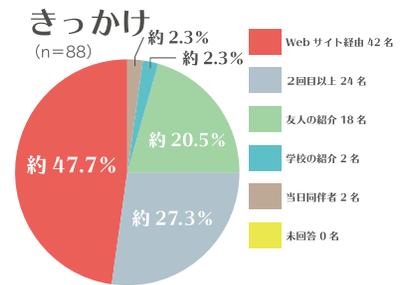
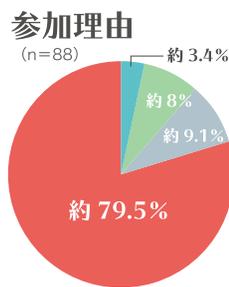
グリーンリストバンド



参加者には「グリーンリストバンド」を配布します。こちらにQRコードを記載し、そこから特設サイトへのアクセスが可能な仕掛けです。以前は、紙で配布していた活動マニュアルもサイト内で確認できるようになりました。また、活動中に、3分間でどれだけマイクロプラスチックを拾えるかを競う「3分間チャレンジ(以下:3チャレ)」というイベントも行っています。コロナ以前は、参加者一人一人の回収量(グラム数)を紙で記録していましたが、現在はサイト内設置の「3チャレ・計測量入力フォーム」に各参加者が入力、送信してもらうスタイルに変更しました。

参加者データの活用と効果

参加者のデータを得ることで、それまで見えていなかったことも可視化することができました。参加理由は、参加者が求めるインセンティブを含めた目的を把握できます。きっかけや年代、性別などは、告知する際、どのような媒体でアプローチすれば効果的なプロモーションとなるかを予測できます。近年、若者を中心としたプロモーションを仕掛けています。その結果、現在は、7割が10代~20代の参加者となっています。この参加者分析を経て、ウキブイに起こった一番の変化は、参加者対応の質が劇的に向上したということ。当日であってもデジタルで参加者情報を呼び出せるので、ひとりひとりに向き合ったコミュニケーションも可能となります。また、前出の特設サイト内には、アンケートフォームも設置してあります。活動後の動向や意見・提案なども参加者自身で送信できる仕掛けを施しています。



まとめ 体験価値の向上



アンケート分析では、参加者が求める情報を把握することもできます。例として、名物ランチや観光名所などの情報をこちらから提供することが可能です。データをお金に変えるのではなく、体験価値の向上に活用すること。デジタルを活用し、私たちが先に参加者の気持ちを理解することも重要と考えま

す。参加者の納得と共感、ビーチクリーンが「楽しかった記憶」となることで、ウキブイを通じて知った海岸漂着ごみの状況、環境問題についての知識を体験談として人へと伝えてくれます。それこそが私たちが目指す「拾いながら、伝えながら、変えていく未来」へ繋がっていくのだと信じています。

海岸清掃事業 概要

令和2年度は、二つの点で特別な年となりました。

一つ目がコロナ禍の影響です。春には海岸への立ち入りの自粛が呼びかけられ、夏には海水浴場が開設されませんでした。こうした状況下でも清掃を止めることなくしっかりと海岸美化に努めました。

二つ目が台風が上陸しなかったことです。そのため、10月から2月上旬まで海岸は非常にキレイな状態が続きました。

しかし、2月中旬から3月にかけて連続して春の嵐が襲来し、一気に海岸が汚れ、その清掃対応であわただしい年度末となりました。



1年間の海岸状況

4月～5月 海岸への立ち入り自粛の中、清掃は継続



4月7日に国から神奈川県を含む7都府県に緊急事態宣言が出され、4月16日にその対象が全国に拡大されました。そして、4月23日から緊急事態宣言が解除される5月25日までの間、神奈川県では、県から海岸への立ち入り自粛が呼びかけられました。

これを受け、財団では海岸清掃ボランティアの支援を見合わせました。しかし、こうした状況下でも、海岸には、低気圧が通過した影響でごみが大量に漂着したり、バーベキューのごみが放置されていたりとごみが無くなることはなく、財団では必要な感染防止対策を講じながら清掃を継続し、できる限り海岸美化の保持に努めました。

7月 カツオノエボシ大量漂着

7月初旬、相模湾沿岸各所にカツオノエボシが大量に漂着しました。

カツオノエボシは大きさが3～5センチほどのクラゲで、風船のような青い浮袋が目を引きますが、触手に強い毒を持ち、死んでも危険なため、自治体から注意喚起が出されただけでなく、TVニュースなどにも取り上げられ、大きな話題になりました。



7月・8月 海水浴場が開設されない異例の夏。清掃はいつも通り実施



コロナウイルスの影響で、神奈川県内全ての海水浴場が開設されない異例の夏となりました。とはいえ、海岸には多くの方が訪れることが予想されたので、

江の島周辺や鎌倉などの海岸は、7月と8月は毎日、夜明けとともに清掃を開始するなど、全てのエリアでいつも通り清掃を実施しました。

7月 長雨と南風で途切れない漂着ごみ



7月は梅雨前線が日本付近に停滞し、7月の東京の降水日数が30日に達するなど、非常に雨が多い月でした。相模湾沿岸では、連日、海からの南風が吹き続け、雨で陸域から海まで流れ出たごみがこの南風によって海岸にだらだらと上がり続け、その結果、7月一か月間で、平塚市から二宮町にかけての海岸に約200トンのごみが漂着しました。

8月 記録的な酷暑での海岸清掃が続く



8月に入ると天気が一転。連日厳しい日差しが照りつけ、藤沢市辻堂では8月の平均気温が史上最高を記録するなど、記録的な酷暑となりました。海岸清掃の現場では照り返しで気温が40度を越えることもあり、そんな中、コロナ対策でマスクをしながらの清掃は非常に体力を消耗する作業でした。

9月 ワッズ大量漂着



大磯町照ヶ崎に散弾銃の薬きょうの中にある「ワッズ」と呼ばれる部品が大量に漂着し、約200個を回収しました。ワッズは、弾を撃った際、散弾と一緒に飛んでいってしまうため、その場で回収するのが難しいのが現実です。神奈川県では、丹沢などで狩猟が行われているため、雨が降ると狩猟区に落ちたワッズが海まで流れてきます。海岸ごみの多くが、山中を含め、陸域全体から川を通じて流れてくることを示すモノのひとつです。

9月～2月 「北風」「台風上陸無し」「少雨」で海岸はキレイな状態が続く

9月から北風が吹き、海に流出したごみが海岸に吹き寄せられませんでした。また、12年ぶりに一度も台風の上陸がなく、その後の11月や12月でも記録的に降水量も少なかったという、海岸にごみが漂着しない条件が長期的に続いたため、秋から冬にかけて、海岸は非常にキレイな状態が維持されました。その分、普段、手が回らない岩礁部などの清掃を実施することができました。



2月・3月 春の嵐4連発



2月15日に、発達した低気圧が本州南岸を通過した影響で関東は春の嵐となり、それまでのごみひとつない海岸が一変し、大量のごみで覆われてしまいました。特にひどかった、葉山町長者ヶ崎海岸～森戸海岸、逗子市逗子海岸、鎌倉市材木座～七里ヶ浜・腰越海岸、藤沢市片瀬東浜・片

瀬西浜・鵜沼海岸、真鶴町真鶴海岸で、延べ40日間の緊急清掃を実施しました。これで終わりかと思っていたところ、3月に入ると3月13日、21日、28日と毎週のように春の嵐が襲来し、その度に大量のごみをもたらし、清掃に追われる年度末となりました。

2月 クギが大量に露出



2月19日、藤沢市片瀬東浜で、強風によって表層の砂が飛ばされ、砂の中から夏の海の家の解体時に出たと思われる釘が大量に出てきました。古い釘だけでなく、何年も経過していないように見える新しい釘も目立ちました。二人で15分間で474本も回収し、その後もボランティアの協力も得て、取れる範囲のクギはすべて回収しました。

横浜銀行様からの寄付金で海岸清掃用車輛を購入



神奈川県と横浜銀行様は、「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結し、地域経済を担う県内中小企業への経営アドバイス・情報提供や神奈川県との協働施策を進めており、横浜銀行様はその一環として「SDGsフレンズローン」を取り扱っています。「SDGsフレンズローン」が多くの方に利用さ

れたことを記念して横浜銀行様から当財団にいただいた寄付金で、海岸清掃用車輛を購入しました。12月8日、株式会社横浜銀行代表取締役常務執行役員小峰直様と神奈川県理事いのち・SDGs担当山口健太郎様にご参列いただき、車輛の贈呈式を開催しました。

財団直営部隊における海岸清掃事業

7月から12月までの118日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、約165トンのごみを回収することができました。



令和3年度海岸清掃委託業者一覧

エリア	委託業者	エリア	委託業者	エリア	委託業者
横須賀・三浦	株式会社ユウアイ	鎌倉・藤沢	株式会社出羽商会	平塚・大磯	株式会社総合サービス
三浦	有限会社阪本伍一商店	藤沢	株式会社フジカッター	小田原	小泉建設株式会社
葉山	株式会社ユウアイ	藤沢	協和通商株式会社	真鶴	有限会社平田建設工業
逗子	協和通商株式会社	茅ヶ崎	有限会社小嶋クリーンサービス	海岸砂防林	株式会社出羽商会
鎌倉	株式会社共栄商社	平塚	株式会社柏木組土木	海岸砂防林	株式会社幸友造園土木

このほか、各地のシルバー人材センター、生きがい事業団、社会福祉法人、地元町内会などにも、海岸清掃にご協力いただいています。

美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップは中止しました。また、例年に比べれば減少したものの、学校の総合学習の時間を活用した出前授業(学校キャラバン)や企業研修の受入れも行いました。これまでのような啓発活動ができない分、オンラインで講演を行ったり、SNSからの情報発信を強化したり、マスメディアを通じた啓発を積極的に展開し、より多くの方々に海岸美化を呼びかけました。



春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップの中止

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、5月から6月にかけて開催予定だった「ビーチクリーンアップかながわ」と、9月から10月にかけて開催予定だった「国際海岸クリーンアップ」を中止しました。

環境学習の推進

内容	件数	参加人数
学校キャラバン	29件	1,354名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	7件	225名
大学生のインターンシップの受入れ	1件	2名
講演等の実施	3件	172名

学校の総合学習の時間を活用した環境出前授業「学校キャラバン」、企業の環境貢献活動や大学生のインターンシップの受入れを行いました。また、SDGsの取組や『かながわプラごみゼロ宣言』の方向性に沿って、海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場からの講演も実施し、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

学校キャラバン [実施例：鎌倉市立小坂小学校]

10月8日、鎌倉市小坂小学校の5年生3クラスに学校キャラバンに行ってきました。事前にクラスごとにSDGsについて学習していたので、生徒の関心も非常に高く、スムーズに講義が進みました。その事前学習の中で2年前に地元の鎌倉の海岸に漂着したシロナガスクジラのお腹の中からプラスチック片が出てきたことについても調べていたので、そうしたごみがどこから来ているのか、どうすれば減らせるのか、それぞれができることは何か、などについて話しました。この後の11月26日にはビーチクリーンも実施し、海ごみ問題についての理解を深めました。



企業等の環境貢献活動等の受入れ 【実施例：パルシステム神奈川ゆめコープ】

10月24日、藤沢市片瀬西浜でパルシステム神奈川ゆめコープの環境貢献活動を受け入れました。

財団職員から海岸ごみについてレクチャーを受けた後、ビーチクリーンがスタート。とてもキレイに見えた海岸でしたが、ザルを使って砂をふるってみると、中からマイクロプラスチックが沢山でてきました。

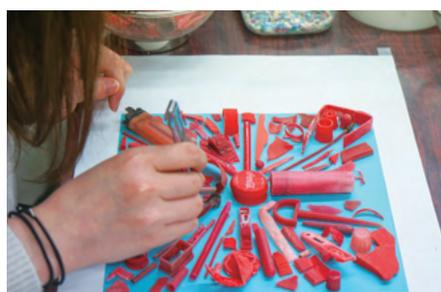
最後の振り返りで、普段の生活からプラスチックごみを出さないことが大切だと参加者全員でシェアしました。



(写真提供：パルシステム神奈川ゆめコープ)



大学生インターンシップの受入れ 【桜美林大学】



3月1日～5日の5日間、桜美林大学からのインターンシップ生2名を受け入れました。

2名は、財団職員に同行して海岸パトロールや清掃作業だけでなく、ごみ調査やプラごみパネル展の準備から設営までの美化啓発の業務も行い、海岸美化に関する仕事を幅広く体験しました。

講演等の実施 【実施例：東南アジア向け研修プログラム】

実施日	講演名等	対象
令和2年11月26日	「SDGsを踏まえた授業を考える」環境講演会	県立横須賀南高等学校2年生
令和3年1月26日	環境省東南アジア向け研修プログラム	インドネシア・ミャンマー、タイ、ベトナムの行政官等
令和3年2月20日	SGジョンソン×SDGs寺小屋 in YOKOHAMA	YMCA ボランティアリーダー

海岸ごみの実態を体感している立場から、講演による情報発信を行いました。1月26日に環境省が行う海洋ごみに関する東南アジア向けプログラムの一環として、オンラインでインドネシア、ミャンマー、タイ、ベトナムの行政官等に対し、財団の仕組みや実効力のある海岸美化の方法などについて講演しました。



河川上流域団体との連携 【秦野市】



海岸ごみの約7割が川を通して陸域全体からやってくる実態を踏まえて、河川上流に位置する秦野市と連携し、市内の小学4年生に対し、専用のテキストブックである「なぎさのごみハンドブック」を配布し、海岸の美化啓発に努めました。

FMヨコハマ「～ God Bless Saturday ～」に出演

マスメディア等を利用した広報の展開:24件

FMヨコハマが開局35周年にあたり、「SDGs」とその14番目の目標「海の豊かさを守ろう」に着目したキャンペーン「守ろう! 私達の綺麗な海」の一環として拡大スペシャル番組となった「～God Bless Saturday～」に出演しました。

海岸ごみについて、今と昔の変化や、近年大型化する台風の影響などをお話し、海岸をキレイにするためには、ビーチクリーンはもちろん、私たちの足元に落ちているごみを拾い、キチンと管理することが大切であることを伝え、DJのじゅんごさんとほのかさんも、改めて、活動に賛同してくれました。



映画「プラスチックの海」にコメントを寄稿



(写真提供: ユナイテッドピープル)

11月13日に劇場公開された海洋プラスチック問題に焦点を当てたドキュメンタリー映画「プラスチックの海」にコメントを寄稿しました。ミズナギドリの中からは、私たちが日々の海岸でよく見かけるプラスチック片が次から次へと出てくるシーンに触れ、海のごみ問題は、遠い世界のお話ではなく、私たちの足元からつながる海で起きている現在進行形の問題であり、ごみの入口である日々の暮らしから対策を取り組む必要があることをコメントしました。

海岸美化キャンペーンの実施

みんなのプラごみ展の開催

パネル展 開催件数: 3件

各所でパネル等を展示し、海岸美化を呼びかけました。パネルとともに、海洋プラスチック問題を分かりやすく伝えるため、桜美林大学インターンシップ生の協力を得て、海岸に落ちていたプラスチック片を並べてアート作品にしたプラごみパネルも作成し、訴求力の高い啓発活動を展開しました。



イベント等への参加・支援 [実施例: 大磯こゆるぎの浜 クリーンアップ&ビーチコーミング]



イベント等への参加・支援件数: 10件

企業・ボランティア団体などが実施するイベント等に積極的に参加、支援しました。

11月14日、大磯町こゆるぎの浜で実施されたFMヨコハマ主催の「大磯こゆるぎの浜 クリーンアップ&ビーチコーミング」に参加、支援しました。

当日は、清掃前に、ビーチクリーンのレクチャーをし、終了後には、集めたごみを前にどのようなごみが多かったかなどの講評とごみの回収等の支援を行いました。

Facebookページからの情報発信



財団公式Facebookページの運用を強化し、海岸の状況等をタイムリーに発信することにより、令和3年3月31日現在8,200人の購読者を得ています。このページを見て、新たにビーチクリーンに取り組むボランティアも増え、強力な広報ツールとして機能しています。

<https://www.facebook.com/bikazaidan/>

SNSを活用したボランティアとの連携



2月から3月にかけて連続して襲来した春の嵐(P5参照)で、一気に汚れた海岸の状況に対応するため、海岸が汚れる度に、FacebookやInstagramで、ごみの多い場所と、ごみ集積場所の情報を細かく発信していきました。発信するたびに大きな反響があり、翌日にはボランティアが集めたごみが山のようになっていました。

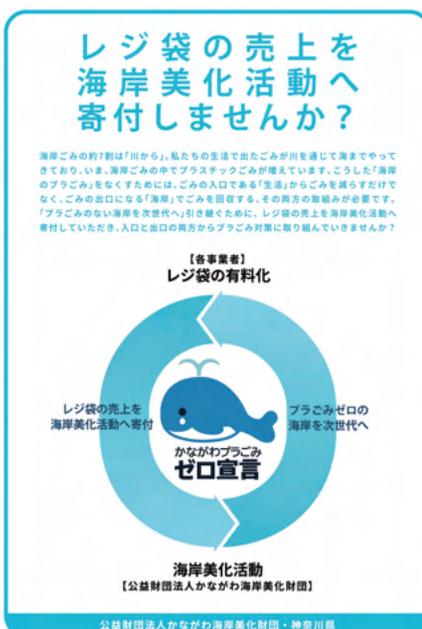
ボランティアが人工ごみを抜き、その後、財団が重機など使用して一気に残りの木くずを片づけるという連携した効率的な海岸清掃が実現できました。

コットンエコバッグプレゼントキャンペーンの実施



湘南電力株式会社様のご協賛をいただいて、オリジナルコットンエコバッグを作成しました。このエコバッグを海岸清掃を申し込んだボランティアにプレゼントするキャンペーンを実施し、新規の申込が大きく増加しました。

レジ袋の売上を海岸美化活動へ寄付



かながわプラごみゼロ宣言の方向性に沿って、レジ袋の売上を海岸美化活動へ寄付することを呼びかけ、賛同した企業からご寄付をいただきました。



美化団体支援事業 概要

海岸清掃ボランティアに対し、ゴミ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。ボランティア数は、前年度までは5年連続で16万人を超えていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、4万人弱に激減し、財団設立以来最低となりました。

また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に毎年開催している、「海岸美化団体等交流会」はオンラインで開催しました。



(写真提供：株式会社栄林)

海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移(平成3～令和2年度)



海岸清掃ボランティア参加者の内訳(令和2年度と令和元年度)

年度	令和2年度			令和元年度		
	件数	参加者数	割合(%)	件数	参加者数	割合(%)
地域団体	58	5,741	15.0	121	23,893	14.7
環境団体	153	11,861	31.0	190	25,513	15.7
学校・教育	68	2,751	7.2	95	9,685	6.0
行政	0	0	0.0	21	15,382	9.5
企業等	116	3,213	8.4	308	23,071	14.2
マリン	85	8,612	22.5	203	54,221	33.5
その他	479	6,120	16.0	418	10,398	6.4
合計	959	38,298	100.0	1,356	162,163	100.0

定期清掃と随時清掃(令和2年度と令和元年度)

年度	令和2年度		令和元年度	
	件数	人数	件数	人数
定期清掃	88	15,460	126	48,228
随時清掃	871	22,838	1,230	113,935
合計	959	38,298	1,356	162,163

個人ボランティアが躍進



(写真提供：RIN)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大規模なイベントや団体でのボランティア活動が軒並み中止となり、海岸清掃ボランティア数は激減しました。こうした状況の中、逆に、増えたのが個人ボランティア。個人の随時ボランティアは、前年度の774人から1,779人に倍増しました。随時ボランティア数に占める割合も、約0.7%から約8%に躍進し、海岸美化推進の大きな力となりました。

オンライン交流会を開催



(写真提供：松木工弥氏)



(写真提供：一般社団法人プロギングジャパン)



3月13日にZOOMを利用したオンライン交流会を開催し、140名の参加がありました。

交流会は二部制で、第一部は、海岸清掃団体 湘南ウキビイ代表の熊沢博樹さんの「ビーチクリーン×テクノロジーの可能性」と題した講演からスタート。

次に、現役高校生の松木工弥さんによる「マイクロプラスチック採取道具『すなふる』を作ってみた」と題した活動発表が続

き、さらに、一般社団法人プロギングジャパン会長の常田栄一郎さんから「地球が綺麗になるのはオマケ？ スウェーデン発のNewフィットネス『プロギング』」と題した活動発表をしていただきました。

第二部は、6つの小部屋に分かれて、オンラインならではの、普段なかなか会うことができない方との交流を図ることができました。

海岸美化募金の募集

国産の間伐材の木製スタンドを使用したオリジナルカレンダー「by the sea」を作成しました。

表紙を含めて月替わりで財団が清掃している13市町の景色を楽しめる内容になっており、会員特典とするほか、海岸美化募金の寄付者にも配布し、636,227円の募金をいただきました。



ボランティア団体等の表彰について

国・県からの依頼を受けて財団が推薦した多くのボランティア団体が各表彰を受賞されました。

表彰名と受賞団体

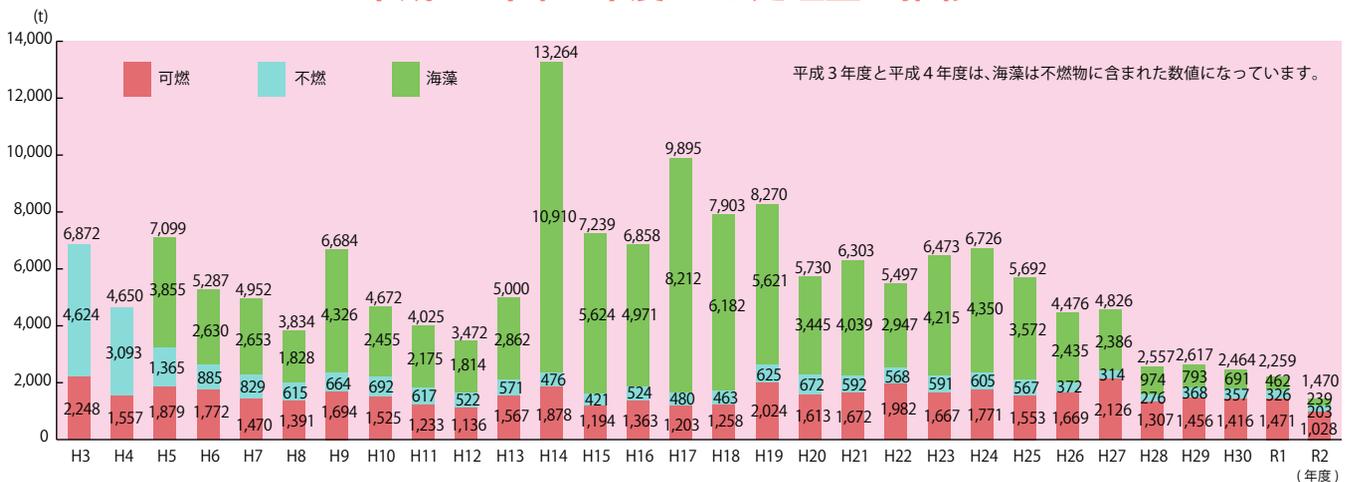
海をきれいにするための一般協力者 国土交通大臣表彰
江ノ島湾護美さあくる
鎌倉マリンスポーツ連盟
環境省地域環境美化功労者表彰
逗子マリン連盟
神奈川県美化運動推進功労者表彰
海岸清掃団体 湘南ウキビイ
神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰
中高生ボランティア団体NEXUS
神奈川県湘南地域県政総合センター所長表彰
茅ヶ崎白樺ビーチクリーン

令和2年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位：kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻
横須賀市	99,000	3,280	215	2,790	30	0	101,790	3,310	215
三浦市	28,355	3,350	0	5,520	0	0	33,875	3,350	0
葉山町	36,380	2,900	0	5,165	45	0	41,545	2,945	0
逗子市	43,510	3,600	2,000	10,720	0	0	54,230	3,600	2,000
鎌倉市	75,100	16,690	205,600	54,160	7,620	0	129,260	24,310	205,600
藤沢市	321,970	48,080	30,200	45,910	2,370	0	367,880	50,450	30,200
茅ヶ崎市	39,880	68,910	0	640	880	0	40,520	69,790	0
平塚市	67,870	6,480	0	45,850	14,870	0	113,720	21,350	0
大磯町	55,460	630	0	23,220	12,900	0	78,680	13,530	0
二宮町	3,055	385	1,260	5,895	3,125	0	8,950	3,510	1,260
小田原市	37,465	3,605	0	6,320	2,760	0	43,785	6,365	0
真鶴町	10,030	265	0	2,700	40	0	12,730	305	0
湯河原町	870	249	0	290	160	0	1,160	409	0
合計	818,945	158,424	239,275	209,180	44,800	0	1,028,125	203,224	239,275

平成3～令和2年度 ごみ処理量の推移



パートナーシップ

会員の状況

会員別一覧 (令和3年5月31日現在)

区分		会員数	口数
法人・団体	10口以上 (特別法人・団体会員)	48	530
	1~9口	89	107
個人		274	734

協賛の状況

協賛一覧 (令和3年5月31日現在 / 順不同)

区分	法人・団体名
物品協賛	日本サニバック株式会社
	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	湘南電力株式会社
	公益財団法人小田急財団
	中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
	株式会社グローイング
寄付金・協賛金 (団体)	株式会社横浜銀行
	三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
	株式会社クオカード
	ミラクルズ
	テラサイクルジャパン合同会社
	株式会社トレス
	有限会社がんこ本舗
	株式会社湘南なぎさパーク
	Project "わ"
	株式会社リコー
	地方職員共催組合 (QUPiO PLUS ポイントプログラム)
	大黒商事株式会社
	ライフクリエイトアカデミー
	Honki University
	株式会社ジャックス
	嵯峨野株式会社



(Honki Universityの子どもたちと当財団代表理事 松浦治美)

令和2年度も、さまざまな形で多くの個人、企業・団体様とパートナーシップを結び、海岸美化を推進できました。財団では、随時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。

新規会員 (令和3年5月31日現在 / 順不同)

区分	法人・団体名
特別法人・団体	第一生命保険株式会社 湘南支社
	一般社団法人神奈川県法人会連合会
	メディカル・エキスパート株式会社
	株式会社栄林
	株式会社京急ストア
	一般社団法人Regional Sports
	株式会社トライアングル
	株式会社ウエニ貿易
	株式会社新江ノ島水族館
	株式会社オオスミ
法人・団体	株式会社TBK
	株式会社ウィザースホーム
	株式会社コア・エレクトロニックシステム
	株式会社城ヶ島水産
	葉山町商工会
	ハママステーション
	湯河原町商工会
	大磯町商工会
	逗子市商工会
	真鶴町商工会
	有限会社ブライト・シティ・ジャパン
	二宮町商工会
	厚木商工会議所
	エコロジーブレイン株式会社
	あそぶ株式会社
	小川海産物有限会社
	宗教法人密蔵院
FSearch Japan合同会社	
宗教法人神光寺	
イルミス株式会社	
湘南群青	
株式会社Link-Up	
個人	112人

会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

SDGsへの取組み

SDGsとは、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための開発目標です。

当財団へのご協賛やご入会は、SDGsの17の目標のうち、14(海の豊かさを守ろう)の取組みになります。



会員 / 出捐団体

特別法人・団体会員

有限会社サニー
株式会社出羽商会
株式会社湘南なぎさパーク
株式会社美装
協和通商株式会社
横浜エフエム放送株式会社
湘南モールフィルテナント会
株式会社神中運輸
日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
小田急電鉄株式会社
京浜急行電鉄株式会社
株式会社フジカッター
株式会社ジェイコム湘南・神奈川

医療法人社団青海会 しんゆり青木整形外科
株式会社ガイア
株式会社アダストリア
レモンガス株式会社
株式会社カナダ
株式会社カネダ
三美興産株式会社
有限会社がんこ本舗
株式会社リビエリゾート
株式会社コーエン
スポーツクラブNAS株式会社
相鉄ホールディングス株式会社
ウォータースタンド株式会社
株式会社服部商店

株式会社鈴廣蒲鉾本店
馬淵建設株式会社
川本工業株式会社
株式会社グリーンルーム
株式会社フジサワ名店ビル
テラスモール湘南 テナント会
生活協同組合 パルシステム神奈川ゆめコープ
上野トランステック株式会社
株式会社バスポート
株式会社共栄商社
株式会社ファンケル
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
吉川化成株式会社

第一生命保険株式会社 湘南支社
一般社団法人神奈川県法人会連合会
メディカル・エキスパート株式会社
株式会社栄林
株式会社京急ストア
一般社団法人Regional Sports
株式会社トリアングル
株式会社ウエニ貿易
株式会社新江ノ島水族館
株式会社オオスミ
株式会社TBK
株式会社ウィザースホーム
(順不同)

法人・団体会員

辻堂ゴミゼロクラブ
ダイタン株式会社 横浜支店
かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」
TSSA(ザ・サーフサーフィンガアソシエーション)
西湘地域連合
公益社団法人 茅ヶ崎青年会議所
神奈川県ライティングディスク協会
一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会
FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT
連合神奈川
湘南地域連合
公益社団法人 平塚青年会議所
一般社団法人 神奈川県バス協会
神奈川県農業協同組合中央会
公益財団法人 神奈川県都市整備技術センター
ミキモト労働組合
公益財団法人 相模湾水産振興事業団
飯工業株式会社
神奈川トヨタ自動車株式会社
茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会
海岸清掃団体 湘南ウキブイ
一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所
住友生命保険相互会社
株式会社さんこうどう

神奈川県内広域水道企業団
社会福祉法人伸こう福祉会
株式会社グリーンアップル
株式会社ストリームグラフ
スプラッシュトイズ鎌倉
アビームコンサルティング株式会社
JAMBO International Center
公益財団法人 藤沢市みらい創造財団
有限会社構建設
有限会社永塚製作所
一般財団法人 横須賀西部水産振興事業団
公益社団法人 大磯町観光協会
建設廃棄物協同組合
一般社団法人 横須賀市観光協会
公益社団法人 藤沢市観光協会
株式会社ニューフレアテクノロジー
公益財団法人 神奈川県公園協会
一般社団法人 神奈川県建設業協会
一般社団法人 茅ヶ崎市観光協会
一般社団法人 平塚市観光協会
株式会社ヤチヨ
江ノ島電鉄株式会社
株式会社社長生運送
Boon Buddies

医療法人社団ビクトリア会 小野歯科医院
東海大学
中日本エクストール横浜株式会社 茅ヶ崎営業所
735style
株式会社幸運社
株式会社汐文社
株式会社鈴木組
藤沢商工会議所
地球を守ろう！
神奈川県中小企業団体中央会
一般社団法人 全国清涼飲料連合会
茅ヶ崎商工会議所
鎌倉商工会議所
平塚商工会議所
公益財団法人 神奈川産業振興センター
オイレシニアクラブ
湘南電力株式会社
横浜振興株式会社
三浦商工会議所
横須賀商工会議所
小田原箱根商工会議所
タカネ電機株式会社
亀井工業ホールディングス株式会社
小田原市橋商工会

合同会社サステイン
平塚信用金庫
株式会社コア・エレクトロニックシステム
株式会社城ヶ島水産
葉山町商工会
ハヤマステーション
湯河原町商工会
大磯町商工会
逗子市商工会
真鶴町商工会
有限会社プライド・シティ・ジャパン
二宮町商工会
厚木商工会議所
エコノロジーブレイン株式会社
あそぶ株式会社
小川海産物有限会社
宗教法人密蔵院
FSearch Japan 合同会社
宗教法人神光寺
イルミス株式会社
湘南群青
株式会社Link-Up
(順不同)

出捐団体

神奈川県
横須賀市
平塚市
鎌倉市
藤沢市
小田原市
茅ヶ崎市
逗子市
三浦市
葉山町
大磯町
二宮町

真鶴町
湯河原町
株式会社旭広告社
アルソア本社株式会社
大塚製薬株式会社
小田急電鉄株式会社
株式会社神奈川新聞社
キリンビール株式会社
京浜急行電鉄株式会社
相模鉄道株式会社
サッポロビール株式会社
ENEOS株式会社

株式会社商船三井
スルガ銀行株式会社
株式会社そごう・西武
損害保険ジャパン株式会社
宝酒造株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
東京ガス株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
三菱UFJニコス株式会社
日本たばこ産業株式会社
東日本電信電話株式会社 神奈川支店

株式会社美装
AIG損害保険株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
株式会社みずほ銀行
三井住友海上火災保険株式会社
株式会社横浜銀行
神奈川県農業協同組合中央会
生活協同組合ユーコープ
逗子仏教会
全国労働者共済生活協同組合連合会
(順不同)

supported by [特別法人・団体会員] (順不同)